

テーマ  
「貪欲に学ぶ」

使命感

SHIMEIKAN

# 飛 雄

第44号 2018. 8月

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 秋里武信 編集責任者：権田和志 第44期 広報委員会



鳥取県西部中小企業青年中央会  
第44期会長 秋里 武信

水道屋あきさと 代表

S48年10月生まれ

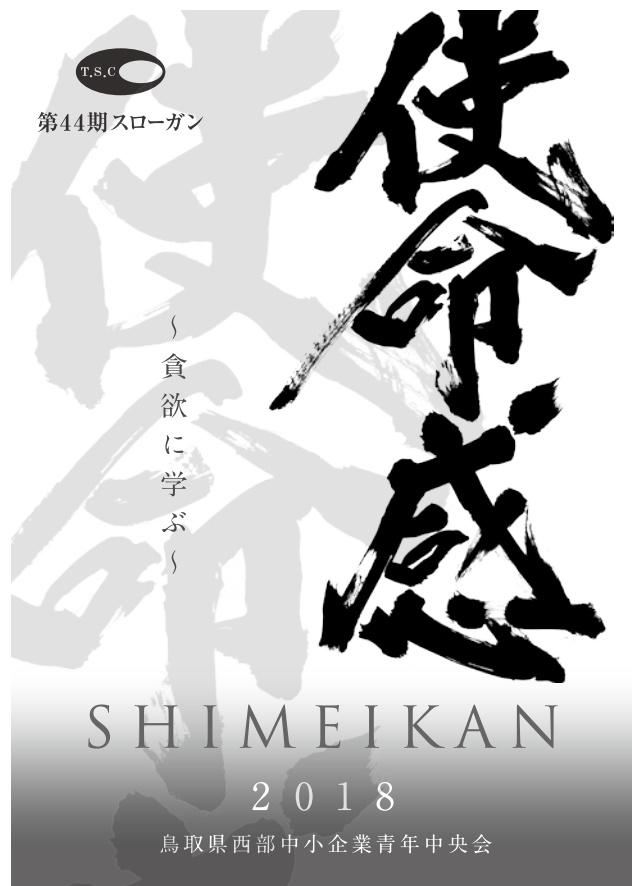
(中央会活動経歴)

H21年度 入会

H24年度 副委員長 / H25年度 委員長

H26年度 専務理事 / H27年度 県出向理事

H28年度 副会長 / H29年度 副会長



T.S.C

第44期スローガン

「貪欲に学ぶ」

SHIMEIKAN

2018

鳥取県西部中小企業青年中央会

## ご挨拶

鳥取県西部中小企業青年中央会 第44期会長を務めさせていただきます。秋里武信と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

平成30年度通常総会懇親会では、ご多用の折、ご来賓の皆様をはじめ多数のOB会員の皆様のご臨席を賜り誠にありがとうございました。

第44期はスローガンを『使命感』と掲げさせていただきました。

西部青年中央会の歴史を振り返りますと、昭和50年の発足以来、時代背景にある諸問題に着目し様々な活動や発信を行って参りました。その原動力は、会員の為、地域の為を思う、その時代を生きた若手リーダー達が持つ使命感であったと考えます。

これから始まる、第44期の活動も、今まで同様、決して平坦な道のりではございません。

西部青年中央会を取り巻く環境も時代と共に変化をし、目の前には会員拡大をはじめ多くの課題がございます。そのような状況の中、今期は、45周年へ向けての準備活動も始まり、これからの西部青年中央会を考えていく上でも絶好の機会だと思います。しっかりと今までの道のりを振り

返し、諸先輩方の教えに学び、時代の変化に臆することなく全会員が使命感を持ち会員の為・地域社会の為になる活動を、更には50周年へ繋がる活動を行って参ります。

また、その活動に於けるテーマを「貪欲に学ぶ」といたしました。

西部青年中央会の活動の中には、自己の成長に繋がる、学びや気づきが無数にございます。英知・友愛・団結の綱領の下、活動を行う上で、我々会員には自己の成長に努め、所属企業の発展に貢献するという使命がございます。その使命を果たす為にも、学ぶことに対して貪欲な姿勢を持ち、貴重な経験や出会いを大切に思い、活動を通じて少しでも多くの学びや気づきを所属企業に持ち帰り、活かしていただきたい。そのような思いを込めさせていただきました。

第44期も全日本トライアスロン皆生大会の協力支援から始まり、各月例会、また第4回を数えますお地藏さまプロジェクトも継続し行って参ります。そして45周年へ向け機運を高める活動も考えております。すべての事業に於いて全会員一丸となり、使命感を持ち全力で取り組んで参りますので、1年間、何卒よろしくお願い申し上げます。

## 副会長・専務理事ごあいさつ



総務・45周年記念事業委員会担当  
副会長 松井淳一

有渡部 専務取締役

H24年度 入会/H26年度 副委員長/  
H27年度 委員長/H28年度 県出向理事  
/H29年度 副会長

第44期 総務・45周年記念事業委員会の担当副会長を拝命致しました有渡部の松井淳一です。43期に引き続いて2期連続で副会長を務めさせていただきます。委員会では総務や45周年記念事業の担当ということで、大変重要な役割を担っていると認識しております。会歴が経つにつれ、先輩方のご苦勞を知る機会も増え、今後我々がすべきことを考えるとヒシヒシと使命感を感じるようになってきました。また、委員会に限らず、四役会でも前期の経験を踏まえて、少しでも貢献できればと考えております。このような機会を与えて頂いた秋里会長には感謝しておりますし、また精一杯役目を果たしたいと思っております。今期一年間も何卒宜しくお願い致します。



広報委員会担当  
副会長 権田和志

株式会社コーポレーション 営業部長

H23年度 入会/H26年度 副委員長/  
H27年度 委員長/H29年度 県出向理事

第44期広報委員会担当副会長を務めます権田です。1年間よろしく願いいたします。

広報委員会はハンサムを始めとする広報活動やホームページ等を外部に発信する重責を担う委員会です。昨今はSNSの台頭や少子高齢化、生産年齢人口の減少による人手不足等の社会背景など我々を取り巻く環境は日進月歩で変化しています。その中で変わらない広報活動を行う為には、先達の意思を受け継ぎ、時代の変化に順応し、次代へとバトンを繋げられるような使命感のある委員会活動をする必要があります。その目的を達成する為に恵比木委員長、小谷副委員長、委員会メンバーをサポートしていきます。また、45周年の節目に向けて「挑戦」することが中央会の成長・発展に繋がると信じ尽力します。



ビジネス経営委員会担当  
副会長 橋本真和

美保テクノス(株) 基礎技術事業所長

H25年度 入会/H29年度 委員長

第44期副会長を拝命致しました橋本真和です。昨年、委員長の任務を務め終えたばかりで、引き続き副会長という大役を仰せつかり、大変光栄に思っております。今期担当させて頂く委員会は、中村委員長と向井副委員長が率いるビジネス経営委員会です。ビジネスと経営は、我々、若手経済人には最も興味深いものであり、この分野に長けたこの両名が、どの様に委員会を運営していくか、そして会員にどう伝えていくか、私自身も非常に楽しみにしております。今期は副会長の立場で、秋里会長から与えられた課題を受けて、中村委員長が感じた「使命感」をしっかりと形に出来るように全力でサポートしていきたいと思っております。一年間どうぞ宜しく願います。



政治行政委員会担当  
副会長 西田裕志

山陰酸素工業(株) 技術本部 技術部 供給

技術グループ メディカルチーム 課長

H26年度 入会/H28年度 副委員長/  
H29年度 委員長

第44期副会長を拝命致しました西田裕志と申します。水野委員長率いる政治行政委員会を担当させて頂きます。前期は委員長という大役を頂き、様々なことを体験し多くのことを勉強させて頂きました。この経験を水野委員長、安達副委員長へ確実に伝えることを重点に置き、秋里会長より与えられた政治行政委員会の活動指針を具現化出来るよう会長と委員会の橋渡し役としてしっかりサポートしていきたいと思っております。経歴は浅いですが、会全体にも目を向けこの第44期がより良い事業となるよう副会長としての使命感を果たし全力を尽くしてまいります。皆さま1年間何卒よろしく願いいたします。



地域ビジョン委員会担当  
副会長 高井賢一

有松友 統括マネージャー

H16年度 入会/H26年度 副委員長/  
H28年度 委員長/H29年度 県出向理事

第44期副会長を拝命し、地域ビジョン委員会の担当をさせていただくこととなりました。副会長の役は初めてですが、これまでの諸先輩方からの教えをもとに、陰ながら山内委員長、高田副委員長を中心とした委員会を支えていく所存です。

地域ビジョン委員会は継続事業の『お地藏さまプロジェクト』を担当いたします。過去3回をしっかりと受け継ぎ、今年度第4回目となるこの事業が山内委員長の下でどのように光を放つのか、今から楽しみでなりません。私自身も「使命感」をもって、精一杯活動させていただきます。一年間よろしく願いいたします。



専務理事兼会計担当理事  
理事 高塚康治

株式会社オートメーション 取締役副社長

H19年度 入会/H26年度 副委員長/  
H28年度 委員長/H29年度 副会長

第44期専務理事兼会計担当理事を拝命いたしました高塚康治と申します。今期秋里会長が掲げられたスローガン「使命感」を会員一人ひとりが体感できるよう微力ながら努めて参ります。また今期は従来の事務局機能がより一層現役会員に求められます。会の事業を円滑に進められるよう、四役会役員会の調整役として、渉外業務の窓口として、食欲に学びながら使命感をもち取り組んで参ります。また、会員拡大、会計担当の役も仰せつかりました。どれも大役ばかりで震えるところはございますが、会の重要な事案を任せていただいたことに誇りをもち、謙虚に丁寧に進めて参りたいと思っておりますので、皆さま一年間、よろしく願いいたします。

# 委員長・理事ごあいさつ



**総務・45周年記念事業委員会**  
委員長 足立 駿

足立ふとん店米子店 店長  
H23年度 入会/H25年度 副委員長/H27年度 委員長/H28年度  
県出向理事

## 「燃」～がむしゃらになる～

第44期総務・45周年記念事業委員会の委員長を拝命しました足立駿です。委員会テーマを「燃」～がむしゃらになる～としました。秋里会長より委員長のお話をいただいた際、数々の諸先輩より受け継いできた総務・周年の委員長というプレッシャーに不安でいっぱいでした。しかし、今は

「自分がやらなければいけない」「渡されたバトンをきちんと繋いでいかなければならない」という使命感に燃えています。総務・周年という中央会の基盤事業を託された委員会である事を自覚し、ベテランから新入会員までいる委員会メンバーと共に1年間がむしゃらに、そして貪欲に学んでいきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い致します。



**広報委員会**  
委員長 恵比木 健

株松本油店 課長代理  
H27年度 入会/H29年度 副委員長

## 「変わらないためには変わらなきゃ」

第44期広報委員会の委員長を拝命しました恵比木健です。委員会テーマを「変わらないためには変わらなきゃ」とさせていただきます。

情報発信機関である広報委員会。今までもこれからも変わらず魅力的な団体であることをしっかりと発信していきます。そして間もなく45周年を迎えます。この時期だからこそ発信すべ

き情報を委員会メンバーとともに考え、提供していきます。またその手段については、変化を恐れず様々なことに挑戦していきたいと思っております。

歴史あるハンサムを作成させていただくことに対して、誇りと責任感を持って活動します。皆様には原稿依頼や取材などでお時間をいただくことがありますが、その際は宜しく願います。



**ビジネス経営委員会**  
委員長 中村友紀

株サンイントウエイ 代表取締役社長  
H19年度 入会/H21年度 副委員長

## 「貢献意識を持って学び・発信をする」

ビジネス経営委員会の委員長を拝命しました中村友紀です。ビジネス経営委員会は「貢献意識を持って学び・発信をする」というテーマのもと、「事業を伸ばす」を中心に重要項目であります「売上・財務・経営」を委員会メンバーと共に学び・発信していきたいと思っております。学ぶだけで終わ

らず発信して行くことで西部青年中央会の皆さまにビジネスや経営の一つでもお役に立てる活動をしていきたいと思っております。また、45周年事業・お地蔵さまプロジェクトや会員拡大など1年を通して様々なイベントも多数ありますので他の委員長メンバーとしっかりと信頼関係を結び秋里会長年度を盛り上げていきたいと思っております。1年間どうぞよろしくお願い致します。



**政治行政委員会**  
委員長 水野孝一

ステッカー工房 代表  
H27年度 入会/H29年度 副委員長

## 「点滴穿石」～継続して未来を開く～

第44期政治行政委員会の委員長を拝命いたしました水野孝一です。今期の政治行政委員会は、「ひとつの力は弱くとも多くの力が集まれば小は大になる」を掲げ、委員会テーマを「点滴穿石」～継続して未来を開く～といたしました。労働人口減少という時代背景の中、地域の人材不足や人材雇用に

おける諸問題などを調査し、所属企業の為にながら何ができるのか？を考え地域の未来へ繋げる橋渡しになる研究をしていきます。我々1人1人の力は小さいです。しかし人が力を合やすことで未知なる力を発揮します。個々がしっかりと使命感を持ち、自ら課題に飛び込み貪欲に学べる活動を行います。1年間よろしくお願い致します。



**地域ビジョン委員会**  
委員長 山内正樹

㈸サンユースビルド 専務取締役  
H26年度 入会/H27年度 副委員長/H28年度 会員拡大プロジェクトリーダー/H29年度 会員拡大担当理事

## 「JIZOPRIDE～継続への道」

第44期地域ビジョン委員会の委員長を拝命しました山内正樹です。地域ビジョン委員会では今期で4回目となるお地蔵さまプロジェクトを主要事業として活動を行っていきます。

「西部青年中央会が主催し、10年後20年後も継続していける事業を」と第41期にスタートした活動がお地蔵さまプロジェクトで

す。また毎年「お地蔵さまフェスティバル」を開催し、少しずつではありますがお地蔵さまの存在が地域の方々そして子供たちに根付いてきたと感じています。この積み重ねてきた事業を「いかに継続していくか」ということを念頭に置き、本気で考え活動していきます。大山開山1300年記念が終わろうともお地蔵さまプロジェクトは継続していきます！1年間よろしくお願い致します！



## 平成30年度通常総会 『響』から『使命感』へ

平成30年7月12日(木)、スマイルホテル米子(味屋プラザ)にて、平成30年度通常総会が開催された。



まず、第43期三輪会長は豪雨災害による被災者の方々へお見舞いの言葉を述べられたあと、「43期の役員を始め、会員皆のお陰で1年間の活動を無事に終え、43年の歴史あるバトンを44期へ渡す事ができた。43期の活動を、秋里会長の掲げられる『使命感』というスローガンに引き継ぎ、さらに発展させていく事をお願いしたい」と、43期を支えた役員や会員への感謝と共に、44期にて当会の一層の発展を願われ、会長挨拶とされた。

続いて、新入会員バッジ授与が行われ、藤原毅彦会員と細田晴美会員の2名が西部青年中央会の仲間に加わった。

その後、通常総会が開会され、議長に選出された第43期山口副会長の進行の元、第43期奥森専務理事兼会計担当理事から第1号議案【平成29年度事業報告、ならび

に収支決算承認の件】の報告、続き第44期高塚専務理事兼会計担当理事より第2号議案【平成30年度事業計画、ならびに収支予算書(案)承認の件】について説明がなされた。両議案とも、満場一致にて承認され、通常総会は滞りなく閉会した。



通常総会の後、次年度会長バッジ授与が行われ、第43期三輪会長より、第44期秋里会長並びに第44期濱田県会長へ金バッジが授与された。秋里会長は「金バッジという形で、三輪会長よりバトンを受け取った」、濱田県会長は「2回目のバッジ授与。気持ちを新たに、



県の事業に取り組んでいきたい」と述べられた。

次に、会員表彰では、皆勤賞30名、精勤賞29名の表彰が行われた。



委員会表彰では、優秀委員会賞を木嶋委員長率いる総務・広報委員会が、最優秀委員会賞を永井委員長率いる人財・組織活性化委員会が受賞。永井委員長は、「委員会全員で考え、全員で実行してきた1年だった。我々だけでなく、全会員が頑張ってきた素晴らしい第43期の活動となった。この賞は、全会員を代表して受け取ろうと思う」と、喜びを語り、これにて平成30年度通常総会は終了した。

(記事:石田)

## 卒会式 『エールと感謝』

通常総会に続いて卒会式が行われた。この日、長谷川貴久会員、辻拓哉会員、廣谷栄一会員、田中真紀子会員、倉光史朗会員、田中猛会員、浜田貴稔会員の7名が晴れて卒会となり第43期三輪会長より卒会者へ卒会証書と記念品が授与された。また、卒会者一人一人に現役会員全員で書いた寄せ書きも贈呈された。



祝辞の中で三輪会長は「7名の卒会者の中では、同じ委

員会になった方もおられれば、残念ながら一緒に出来なかった方もおられますが、6月例会を担当して頂き、例会の打ち上げに呼んで頂いた事は非常に嬉しく思っています」と感慨深く話された。

卒会者挨拶では、7名の卒会者が在籍中のエピソードなど交え挨拶をされた。会社や家族への感謝を述べられたり、6月例会の担当が新入会員と卒会予定者であったおかげで、壇上から見渡す皆の顔と名前がわかるのが嬉しいといった話があった。また、挨拶の途中で言葉を詰まらせ涙ぐむ場面もあった。



最後に卒会者より、6月例会のリーダーをされた社会員から三輪会長へ目録が渡され、卒会式は終了した。

(記事:赤井)

## 懇親会 『来賓・OB多数の中、秋里会長所信表明』

総会・卒会式に続いて懇親会が和やかな雰囲気の中開催された。



冒頭、秋里会長よりスローガン『使命感』、活動テーマ『食欲に学ぶ』について発表があり「全会員が使命感を持ち、地域社会の為、更には50周年に繋げる活動を共に考え創り上げていく」と決意を力強く述べた。また、この度の西日本豪雨災害についてはお見舞いの言葉と共に、会として義援金を募り被災地に贈る考えを述べ、来場者に協力を呼びかけた。次に来賓代表として鳥取県西部総合事務所所長中山貴雄様より「今期スローガンは、この地域の活性化を担っていくという意気込みの現れであると感

じた。中央会の皆様へは皆生トリアスロンほか多くの地域貢献への感謝を申し上げる」と挨拶があり、続いて土井一朗OB会長より、第43期三輪会長を労った後「『使命感』のもと、結束力を高めて時代を創っていただきたい」との挨拶があった。そして株式会社新日本海新聞社主幹寺谷寛様の乾杯の発声で懇親会は始まり、新



役員・卒会者の紹介、続く皆生トリアスロン壮行会では出場者へ向けて、応援団とともに会場全体よりエールが送られた。



新入会員アトラクションでは、10名が『使命感の舞』を披露し、躍然たる演技で新年度の成功を願った。

そして盛況の中、鳥取県中小企業団体中央会田栗正之専務理事の中締めの挨拶をもって閉会。来賓、OB会員、現役会員が挨拶を交わしたり、談笑したりする場面が多く見られ、終始和やかな雰囲気のまま懇親会は幕を閉じた。そして第44期西部青年中央会の歴史が始まった。

(記事:岡田)

(株)ホクシン 代表取締役社長



本年度、第44期鳥取県中小企業青年中央会の会長を務めさせて頂きます濱田修です。3月に開催された県の臨時総会にて会員の皆様方より県会長としてご承認頂いてから早3カ月が経ちました。この間の月日は何かと慌ただしく、非常に早く過ぎ去る感がありましたが、いよいよ第44期がスタートとなります。諸先輩方、第43期から受け継ぐ部分はしっかりと受け継ぎながらも他方で私なりの色を出し、また次に繋げていくという当たり前のことを念頭に活動していきたいと思っております。

第44期のテーマは「共鳴和音」とさせて頂きました。造語のような言葉ですが、会員一人一人を一つ一つの音に見立て、それらの音を一齐にかき鳴らす和音とすることで単音では実現できない響きを共鳴させ轟かすという意味です。

和音にも色々種類がありますが、もちろん不協和音などではなく、煌びやかな和音、或いは重厚な和音など、ともかく個の個性を活かしながらも一体感のある和音とすることをイメージしています。東中西各地区の青年中央会において地区間でも会員間でも或いは各企業に置き換えた場合でも、各人が自分の役割を理解してしっかりとそれを果たし、そして互いを理解、尊重し、協調することでより素晴らしい働き、活動ができることを思い描き、このようなテーマとさせて頂きました。

東中西各地区の会員はそれぞれの地区の会員であると同時に県の会員ですし、県の魅力はやはり他地区との交流にあります。西部の会員、とくに会歴の浅い会員の方には、主幹年度であることをよい機会と捉えて積極的に交流をして頂ければと思います。県が元氣な活動を展開していければ、各地区にもそれが波及するでしょうし、逆もまた然りです。地区は違えども、同じ綱領の下、同じ志の下、同じ鳥取県下で組織されている我々、県青中が一丸となり、連携して鳥取県全体の活気に繋げられるような会の運営ができればと思いますので、どうぞ一年間宜しくお願い致します。

### 鳥取県中小企業青年中央会 第44回通常総会・懇親会

平成30年7月24日(火) ホテルセントパレス倉吉にて鳥取県中小企業青年中央会の第44期通常総会が行われた。

はじめに、第43期牧井県会長から挨拶があり「道をひらく」というテーマのもと、多くの方に支えられて大きな事業に取り組んでいく事ができた。志をしっかりと持ち、仲間とともに成長する事ができた1年間だった」と述べられた。

続いて、議長に選出された第43期永川県副会長の議事進行のもと、第1号議案(平成29年度事業報告並びに収支決算報告の件)、第2号議案(任期満了に伴う新役員指名承認の件)、第3号議案(平成30年度事業計画(案)並びに収支予算書(案)承認の件)が審議され、全ての議案が満場一致にて承認された。

最後に、第44期濱田県会長が「第44期も皆様と力を合わせて素晴らしい1年間を築いていきたい」と決意を示して閉会となった。

総会の閉会に続いて、ご来賓の方々をお迎えしての懇親会が開催された。

初めに鍵の引渡式が行われ、第43期牧井県会長から第44期濱田県会長へと無事に引き渡された。そして第44期の活動テーマである「共鳴和音」に沿って、「一人一人の会員、各地区の青年中央会が自身の個性・長所・役割を理解し、それを果たし合い、一つの目標や目的に合わせて意識やモチベーションを同調させ、協調する事で、単なる足し算では説明できない相乗効果を生み出したい」と濱田県会長が挨拶をされた。

次にご来賓を代表して、鳥取県商工労働部部長 吉村文宏様と鳥取県中小企業団体中央会会長

谷口譲二様からご祝辞を頂いた後、谷口様より第43期牧井県会長並びに第43期各地区県副会長の4名へ盾の贈呈が行われた。そして、倉吉市長 石田耕太郎様による乾杯のご発声でいよいよ懇親会がスタートした。

アトラクションでは、第1部として第43期に行われた事業を映像で振り返り、その後、県新役員が紹介された。第2部として昨年末「とっとりふるさと大使」に就任され国内外でご活躍しておられる鳥取県米子市出身のソプラノ声楽家、佐田山千恵様によるパフォーマンスが披露された。その圧倒的な声量と、人の心に共鳴する煌びやかな歌声は会場にいる全ての人を包み込み魅了した。そして第3部として各地区の第44期の抱負及び委員長の紹介が行われた。

地区の垣根を越えて親睦を深める中、公益財団法人鳥取県産業振興機構代表理事 中山孝一様から中締めのご挨拶を頂き、盛会のうちに懇親会が閉会した。

(記事: 青戸)





# 第38回 全日本トライアスロン皆生大会

去る7月15日、第38回全日本トライアスロン皆生大会が36度を超す猛暑の中、開催された。中央会からは『チームTSC』（谷口OB、内田会員、石田会員）、そして『チームこだらかし』（後藤OB、福庭OB）が参戦。両チームともこの暑さの中、見事完走。そして同じく厳しいコンディションの中、ボランティアスタッフとして各所で奮戦した中央会会員・OBもまた、選手と共に鉄人となった。  
(記事:小谷)

START



## 完走お疲れ様でした！トライアスロン参加選手感想

### 第38期卒業 谷口弘毅OB（谷口建築 代表）



5月末にマラソン担当の安藤君がドクターストップになったため、チームの大会出場が出来なくなると石田君から話を聞き、補欠登録をしていた私は初挑戦の石田君を何とか出場させてあげたいという思いで何も考えずに自分が代わりに出場することを表明しました。

しかし7年前に西部中央会のチーム初参加でマラソンを走って以来、走っていなかったことを忘れていました。翌日の6月1日にすぐにマラソンシューズを買いに行きトレーニングを始めました。練習はととても過酷でしたが目標のある毎日はとても新鮮でした。

当日、沿道で中央会メンバーや仲間、ボランティアの皆さんの声援を受けながら東山にゴール出来た達成感が最高に気持ち良かったです。夢のような一日でした。終始サポートしてくれた福庭さん、ありがとうございました。

### 内田和也会員（有内田重機 代表取締役）



私は、18年間の中央会生活で、ボランティア部、AS部、マラソン部と経験してきました。

そして今年とうとう選手としてスイムを担当しました。諸先輩方から役を頼まれたら断るなどと言われてきましたが、石田会員にスイムで出てくださいと言われた時は、さすがに選手は断ろうと思いましたが、私はスイマーではなくクライマーなのです。しかし山で鍛えたこの肺活量があれば、3キロくらい泳げるんじゃないかと安易な考えで引き受けてしまいました。結果は、ほぼ最下位でしたが、皆さんからの声援や、労いの言葉はとても嬉しかったです。人に感動を与えるつもりで参加しましたが、感動を与えてもらった大会でした。

2ヶ月の練習で泳げるようになった私は、やっばすごい!!

### 石田倫章会員（ウィルビー(株) 課長）



スイムの内田会員が予想より早く海から上がって来てもらえたお陰で、私は余裕を持って走ることができました。5時間30分という目標タイムには及びませんでしたが、メカトラブルや体調不良、事故も無く、ランの谷口OBに時間を回すことができ、満足しております。

2年ぶりの現役会員チームということで、チーム結成から苦労しました。その後も安藤会員のドクターストップや内田会員の故障・蜂被害を乗り越えてのチーム完走という事で、十分過ぎる結果を得る事ができました。OBチーム含め、ご支援頂いた中央会の皆様に感謝申し上げます。

私ですらできたのですから、1年あれば誰でも1/3トライアスリートになれます。来年も現役会員からの挑戦、よろしく願います!

# 第38回全日本トライアスロン皆生大会を終えて



実行委員長 高塚康治 (㈱富士オートメーション 取締役副社長)

トライアスロン実行委員長の高塚です。会員の皆さまの各部でのご活躍により、今大会も期首の大きな継続事業の一つとして、実施することができました。大変お疲れ様です。とくに各部長におかれましては、各部員を牽引し、見事大役を果たしていただきました。

私はというと、長年着慣れた青Tシャツから新入会員以来となる緑Tシャツに袖を通し、また違った角度からトライアスロンに関われ、大変有意義な時間でした。その中でも、やはりこのような事業は「負担」だとは思わず、どこかに「楽しみ」を見出しながらやることの意義を改めて感じる事ができました。そして反省することを忘れずに、次回大会に繋げていきます。皆さん、暑い中本当にお疲れ様でした！！



オアシスAS

## ボランティア部長 田中 猛 (新OB)

(田中正夫建築設計事務所 米子事務所長)



大会当日21:30、1,000人を超える観衆の中、ゴール前にて万感の思いで締め挨拶を終え、中央会の皆様、競技委員会の皆様から「田中部長!良くやった!!」と肩を叩かれた時は、張り詰めた気持ちが吹き飛び、思わず涙が零れ落ちそうでした。

ボランティア部は4月から本格的に活動を始め、当日までも、各所挨拶回り、システム改善、各説明会開催、ボランティア配置と膨大な作業を各担当に分かれています。特に各担当の正副リーダーにはご負担をかけましたが、OBやベテラン部員より助言を頂きながら、全部員できっちりこなして頂きました。

当日は多くのOBにもご協力頂き、各部員がそれぞれ持ち場をきっちり守ってくれたおかげで、特に大きな問題もなく、大成功の裡に今大会を終えることができました。本当に頼りになる部員に支えられ、感謝、感激のフィナーレを迎えることができました。ありがとうございました。

## マラソン部長 田中健雄

(司法書士法人 田中事務所 代表社員)



マラソン部の皆様、大変お疲れさまでした!そしてボランティア部、AS部の方々にもポスター貼り、備品洗いや看板立て、さらには当日の長砂倉庫の撤収作業等、様々なご協力を頂き、大変感謝しております!各部との連携も年々スムーズになっており、一丸となって臨めた大会だったのではないのでしょうか。

高塚実行委員長をはじめとする歴代部長の的確な指示、経験豊富な副部長や各担当者の皆様に支えられながら、無事に大会を終えることができました。

私はトライアスロンのボランティアでは、ほとんどマラソン部で活動を行ってきました。マラソン部は春先から活動が始まり、大会当日に向けて徐々に作業量がヒートアップし、当日の撤収作業でエネルギーを使い果たす感があります。そんな流れの中で、メリハリのあるマラソン部の雰囲気や空間は、心地良いものがありました。たくさん笑いの中で部長の職を全うすることができ、改めて感謝する次第です。本当にありがとうございました!

## AS部長 本田 繁

(東京印刷㈱ 営業)



灼熱の太陽の下、新入部員による太鼓叩きから暑い一日がスタートしました。

振り返れば、AS部長を拜命して直ぐ堀尾一仁副部長・足立駿副部長に声を掛けたところ、快く副部長を引き受けて頂き、AS部運営を開始することができたのですが、何事も予定通りに進むわけではありません。当日の物資不足・人員不足等、色々課題がありましたが、今大会も皆様に支えられてなんとかボランティア活動が出来ました。

ベテラン部員には率先して後輩の面倒を見て頂き、新入部員には早朝の選手壮行会から終日太鼓を叩いて応援をして頂きました。皆様のご協力で選手も苦しんだ猛暑の日の暑いボランティアを無事に締めくくることが出来ました。本当に有難う御座いました。



Kaike Triathlon

# 新入会員が見たトライアスロン

volunteer

## 上田和人 (株)D'sプランニング 専務取締役



今回、中央会に入会してトライアスロン皆生大会のボランティアを初めて経験しました。トライアスロン皆生大会と言う名前は入会以前から知っていましたが、こういった規模でどんな内容なのかは全く知らない状態でのスタートでした。

事前準備の段階から備品洗いや看板立てなど様々な作業に参加して、当日もASで選手達に対しての応援や補助を行い、選手達の一生懸命な姿に心を打たれました。ひたむきにゴールを目指すその姿は本当に素晴らしいものでした。

そして何より一致団結して活動する中央会の先輩方の団結力にはただただ感動するばかりでした。「自分達に出来ることは何なのか」「少しでも選手の力になりたい」そんな思いが行動へと顕著に現れており、先輩方の熱を肌で感じる事が出来ました。動き方が分からない自分に対しても先輩方は色々と教えて下さり、とても勉強になりました。選手側の立場になって考え、「どうすれば選手の負担を軽減出来るのか」「どうすれば選手を喜ばすことが出来るのか」といった質の高いパフォーマンスを提供するといった部分は自身の仕事へも生きてくことだと思いました。

この素晴らしい大会に携われたことを誇りに思うと同時に今回経験したものを次回に生かし、より良い大会になっていくよう、出来ることを精一杯やっていきたいと思えます。そして今回のボランティアを通じて学んだことを今後の仕事や中央会活動にも生かしていき、より一層の自己研鑽に努めるよう精進していきたいと思えます。

## 中嶋翔太 (株)ノーブルライフ 飲食事業部ARISE店長



4月に入会したものの、なかなか中央会活動に参加できずにいたのですが、このビッグイベントにはなんとしても参加しなければ！という思いでボランティアに臨みました。

同期の皆さんが総会懇親会アトラクションで活躍しているなか、仕事の都合で欠席した私は朝のスタート地点にて、同期の皆さんに一人ずつ謝罪して

いきました。しかし「気にしないで!」「お仕事だから仕方ないですよ」など暖かい声や叱咤激励もいただき、気も入ったところでトライアスロン参加メンバーの壮行会、応援をしました。出場者の皆さんはとても和やかなムードでスタートを切り一斉にスイム開始。MCの方の腕もあったのでしよう。

仕事終わりであまり睡眠が取れていなかった私は3時間ほど仮眠した後に本番のASでの活動をしました。当日は雲一つない晴天で、仕事柄日光を浴びない私はみるみるうちにこんがり焼けていきます。そんな中で皆さんと一緒にせっせと設営を行いました。

そうこうしているうちに選手がASに到着。「この酷暑の中選手たちは本当にすごいな」と思いました。そこにはまさに鉄人たちの姿がありました。頑張ってほしい!完走して欲しい!という想いがこみ上げていき、自然と選手に声をかけていました。頑張れ!ナイスラン!いろんな言葉で選手にエールを送り続け気がつけばもう21時。あっという間に終了時刻となっていました。

このトライアスロンのボランティアで得た同期の絆、そして心地よい疲労感と筋肉痛は私の人生の貴重な経験になりました!

（ビジネス経営委員会）



## 藤原 毅彦

南西尾電機商会 営業  
電設資材卸  
〒683-0824 米子市久米町291  
TEL 33-3321 FAX 33-3374

H30.07 (H30年)入会  
(推薦者) 中村(友)  
向井(幸)

〈コメント〉この度、7月に入会させて頂きました有限会社西尾電機商会の藤原です。

中央会での活動を通じて何かのお役に立てるように頑張りますので、至らぬところが多々あるとは思いますが、よろしく願います。

〈新入会員〉

（総務45周年記念事業委員会）



## 細田 晴美

東亜青果(株) マーケティングマネージャー  
新商品企画・営業  
〒683-0804 米子市米原9-3-20  
TEL 33-3311 FAX 33-3312

H30.07 (H30年)入会  
(推薦者) 浜田(貴)  
長谷川(恵)

〈コメント〉この度、中央会に入会することになりました東亜青果株式会社の細田です。

私の所属する食品部は、今までの青果市場流通とは異なった事業をしています。昨今では、営業の幅を広げ、鳥取県産品果実の輸出や、加工食品の企画・販路拡大に力を入れています。

中央会で色々な交流を大切に、沢山学び、日々精進していきたいと思っています。

女性会員は少なく、中々溶け込みにくいので、気軽に話かけて頂けると嬉しいです。

## 8月役員会報告

平成30年8月1日(水) 米子市公会堂 集会室5にて8月役員会が開催されました。議題は以下の通りです。

- ・総会、卒会式、懇親会開催報告の件
- ・8月例会開催の件
- ・9月例会開催の件
- ・その他

※なお、詳細については各委員長までご確認ください。

## ご報告「西日本豪雨義援金について」

鳥取県西部中小企業青年中央会 通常総会懇親会にてOB・現役会員の皆様から頂いた西日本豪雨義援金75,112円を7月25日、新日本海新聞社西部本社様へお届けいたしました。

皆様、寄付にご協力頂き誠に有難うございました。

## 編集後記

入会してから何となく読んでいた雄飛。第43期は作成に少しだけ携わりましたが、今期はがっぶり四つに組みました。とても大変な作業でしたが、この雄飛第44号を愛おしく思います。これから毎月、広報誌を「生み出す」喜びを委員会メンバーと共に感じながら、丁寧に作り上げていきます。活動の糧になりますので、読んでいただいた方からのご意見ご感想をお待ちしております。一年間よろしくお願い致します。

(広報委員会 委員長 恵比木)